

- 異なる情報共有システム間のデータ連携機能を検討し、平成25年度からデータ連携機能を基本的に全ての工事において一般化する。
- 平成23,24年度の2カ年を受発注者双方の情報共有システム習熟期間として位置づけ、試行を実施する。

【情報共有システム間の機能拡充に向けた検討スケジュール】

○異なる情報共有システム間のデータ連携機能

- ・異なる情報共有システム間のデータ連携について、データ連携方式、データ交換方式等の検討を行い、実証実験を経て機能要件への追加を行う。(平成23年度中を目標)
- ・データ連携機能に対応した情報共有システムの開発を誘導する。(平成24年度中を目標)
- ・異なる情報共有システム間のデータ連携機能を調達要件に位置づけ、データ連携機能を有した情報共有システムを基本的に全ての工事において一般化する。(平成25年度からを目標)

○試行件数

- ・上記スケジュールに沿って検討をすすめるとともに、平成23、24年度の2カ年を受発注者双方の情報共有システム習熟期間として位置づけることとし、平成23年度は約2500工事、平成24年度は約3500工事で試行を実施する。